

## 令和2年度行事週間：Reborn



11月4日～6日にかけて行われた「行事週間：Reborn」について紹介します。



「行事週間：Reborn」中の光庭の様子

例年9月の中旬に行われてきた本校の伝統行事である「行事週間」が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により中止せざるをえない状況になりました。

行事運営委員会を中心に、臨時休校中も含めて何度も会議を重ね、今回の「行事週間：Reborn」を実現するに至りました。

今年のテーマは、「繋がりひろがり」。人と人の物理的距離が制限される中、「本当はみんな1つで繋がっていることを感じてほしい。」という行事運営委員会の意志が込められています。

このテーマを形にしたものが「行事週間：Reborn」になります。

「行事週間：Reborn」は、これまでの芸能祭、創作展、芸能祭という行事の枠組みを超えた、新しい行事となりました。

様々な小石川生の持っている能力を駆使して、現在の状況でも実現可能な新しい手法で行事を企画するという創造性を発揮してくれました。

「行事週間：Reborn」では、事前に作成された映像（合計すると約27時間分）を、「テレビ番組」という形（放課後3時間×3日間×3チャンネル）で放映されました。

生徒は事前に配られた番組表から自分の見たい番組を選択して見ることができました。



『紅白パフォーマンスバトル』



『小石川映像祭』

3日間で放映された10種類の企画を紹介します。

#### ①The Greatest Showman

例年、芸能祭の幕間に出場していた団体がパフォーマンスを行う番組です。歌やバンド、ダンス、漫才など、幅広いパフォーマンスを披露しました。

#### ②紅白パフォーマンスバトル

例年、芸能祭に出場していたような部活やバンドをはじめとする団体がパフォーマンスを行う番組です。今回は個人での賞を争うのではなく、紅組と白組に別れ、パフォーマンスを競う番組となりました。

#### ③小石川映像祭

各クラスが作成した映像を集めた番組です。1、2年生はミュージックビデオを、3～6年生は映画をはじめとする様々な映像作品を作成しました。3D技術や特撮、リモートでの撮影など、様々な工夫が凝らされた多彩な作品が集まりました。

#### ④部活～私が選んだ世界～

各部活動が作成した映像を集めた番組です。それぞれの部活動が、その部活ならではの趣向を凝らした映像を見ることができました。

#### ⑤小石川頭脳王

各クラスから選出された精鋭が、知識、雑学、ひらめきなどを競い、学年1位を決めるクラス対抗のクイズ番組です。出題された問題にも多くの工夫がされていて、人気のある番組の1つでした。

#### ⑥小石川 e-sports 大会

小石川で史上初の e-sports の大会です。ゲーム自慢の生徒たちがお互いの技術や華麗なテクニックを振るってくれました。ユニークなゲーム実況もあり、こちらも人気のある番組の1つでした。

#### ⑦全員一致クイズ

小石川に関する問題の答えをクラス全員で一致させる団対抗のクイズ番組。全員が答えを一致させるまでにかかった問題数を6学年で集計し、団対抗で競いました。普段、通ってはいるものの、意外と知らない情報もあり、各クラス盛り上がりを見せていました。

#### ⑧チャレンジ企画

様々な小石川生が、自分の特技や挑戦したことを投稿した動画を集めた番組。様々なつぶやきを集めたものからこの「行事週間：Reborn」のために作った作品の紹介するものまで、幅広い動画が集まりました。

#### ⑨セレモニー

例年の行事週間で欠かせないオープニングやクロージング。全校生徒が集まれる機会はなくなりましたが、この「行事週間：Reborn」を盛り上げるために、多くの生徒の力が集結しました。

オープニングでは、団長による団長パフォーマンス映像が生徒を盛り上げてくれ、人気のある番組となりました。

クロージングでは、「ライブ配信」にも挑戦し、学校で視聴している生徒に行事運営委員会からの生の声を届けました。

#### ⑩アート展示

個人や団体が制作したバラエティ豊かなアート作品を、行事週間の間、校内に展示しました。

例年、体育祭で披露される各団の立て看板は、今年度はアート展示として行事を盛り上げてくれました。



『小石川映像祭の映像』



『体操部』

来年度に向けて、新しい行事運営委員会も始動しています。例年の行事週間に加えて、今回の行事で習得した映像技術も取り入れた行事週間を企画しているようです。さらに進化した来年度の行事週間も期待したいと思います。



『小石川頭脳王の撮影』



『紅白パフォーマンスバトル撮影』

